

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	ふくしま看護モデル検討部会令和4年度第1回ワールドカフェ開催報告：学内活動
Author(s)	高橋, 香子; 阿久津, 和子; 阿部, 久美; 井上, 水絵; 大内, 美奈
Citation	福島県立医科大学看護学部紀要. 25: 29-30
Issue Date	2023-03
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1982
Rights	© 2023 福島県立医科大学看護学部
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-27T18:23:17Z

学 内 活 動

ふくしま看護モデル検討部会 令和4年度 第1回ワールドカフェ開催報告

ふくしま看護モデル検討部会
部会長 高橋 香子

カフェ班 阿久津和子, 阿部 久美, 井上 水絵, 大内 美奈

平成29年に、ふくしま看護モデル検討部会はワールドカフェを開催し、学部教員全員で「ふくしま看護モデル：看護学部の Vision」を語り合い、10年後の看護学部の「看護実践・教育・研究の将来像」が決定した。その中で、ふくしま看護モデルにおいて看護学部は『看護実践・教育・研究の拠点』となった。

しかし、『看護実践・教育・研究の拠点』とは、学部として具体的にどうすればいいのかが曖昧な状況だった。

そのため、教員同士、自由に語り、『看護実践・教育・研究の拠点』を具体化・実現化に向け、楽しい雰囲気でも語り合い、教員の思いや考えを具体化することを目的に、令和4年度第1回ワールドカフェを開催した。

【開催内容】

開催日時は、8月5日金曜日13時～15時で、「看護実

践・教育・研究拠点とは？」～みんなで考え具体化し、実現へ～をテーマに、看護学部教員があつまりワールドカフェが行われた。

当日は、33名の看護学部教員が参加し、職位、部門に関係なくランダムに8グループに分かれ、癒しの音楽が流れる中、自由に楽しい雰囲気での話し合いとなった。

福島県立医科大学看護学部が、看護実践・教育・研究拠点となり、具体化・実現するために、教員はそれぞれの熱い思いを語り、時に笑い、感嘆しながら各グループ進めていた。

様々な視点から沢山のアイデアや考え改善点を共有することができ、大変有意義な時間となった。

看護実践・教育・研究拠点を実現・具体化できるよう、得られた結果を考察し、なおいっそう推進していきたい。



